



今月の一枚

枝垂れ梅と蓮如上人（順慶寺本堂にて、岡川経康氏撮影）

### ◆◆ 蓮如上人像 ◆◆

順慶寺の境内には、親鸞聖人の銅像と蓮如上人の銅像がある。ともに、現住職が住職就任当時、役員有志の方が御懇志されて建てられたもの。建立当時、蓮如上人像は、境内どこから見ても、迎え入れてくれているように見えると評判となった。

# 順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺  
2020年(令和2年)

3月号  
VOL.317

### ◇ 怨みは怨みで晴れることはない ◇

◆ 今月の言葉も釈尊の残された『ダンマパダ』からの引用です。

このところ、最も関心事は、新型コロナウイルスのこと。昨年十二月中旬に中国湖北省武漢市で最初に発生し、ヒトヒト感染によって中国の全ての省に蔓延し、またアジア、ヨーロッパ、北米、アフリカ、オセアニアなど他の多くの国にも拡散。現在まで莫大な感染者と多くの死者を出しています。ほとんどのメディアで取り上げられ、最大級の注意喚起がなされているので、知らない人はいないと思います。

この感染症に対して、当初より、日本感染症学会の館田理事長は「パニックになることがないよう、対応していかないといけない」と呼びかけ、「新型コロナウイルスが変異を起したら、SARSのようになるという可能性は否定できない」との見解を示していました。このところ、中国はもとより、韓国や日本でも本格的な流行がはじまり、マスク



## 今月のブツダの言葉

怨みを抱く人たちの中にあつて  
怨みを抱かず幸せに生きよう



### 若院のテーマカット NO.12



や消毒アルコールが不足し、爆発的な感染拡大を防ぐために、イベントや会食の中止なども相次いでいます。

この感染症の影響は、医療や経済における混乱や不安もさることながら、感染を恐れる差別が生まれること。欧米では、アジア人というだけで、乗り物への乗車拒否があったり、アジア系の料理店に「コロナウイルス」と落書きされたそうです。日本でも、クルーズ船ダイヤモンドプリンセスの乗客やその対応に当たった職員が、バイ菌扱いされたと報道されています。こうした差別は、差別され

る人の心を傷つけ、人間不信に陥れ、人間関係の根幹を壊してしまう可能性もあり、より深刻です。ウイルスに感染した人やその関係者は、たとえ病が治っても、怨みを抱かずに生きる方法を見出さないと、心からの快癒にはなりません。

◆プラスマイナスゼロ◆

蓮如上人は、「疫癘の御文」(四帖目九通)と呼ばれる御文に「近頃、たいそう多くの人が感染症にかかって亡くなっています。しかし、これは決して、感染症によって初めて死ぬわけではありません。生まれたときから定まっている業の報いなのです。それほど深く驚くべきことではありません。」と述べておられます。このお言葉をそのまま受け取る

①【SARS】

平成十四年に流行したコロナウイルスによる病气。人から人へと感染することが確認され、八〇六九人が感染し、七七五人が死亡した。インフルエンザと同じように、感染した人から飛沫感染し、二〜十日間の症状のない期間のあと、発熱、悪寒、筋肉痛で発症。さらに一週間後に、呼吸困難を伴う肺炎がおこり、死亡することがある。翌年に制圧宣言。

②【疫癘の御文】

延徳四年(一四九二)六月、蓮如上人の七十八歳の御文。当時、疫病が流行すると、原因を亡霊のたたりとか、日の吉凶や性命判断等に求めたため、元号も延徳から明応に改元された。しかし、疫癘の御文では、疫病よって死の不安の現実を直面しているものに、いかなる迷信呪術にも動ずる必要のない、阿弥陀の慈悲を見出すことを教えている。

と、伝染病にかかって亡くなったのは残念ですが、これは生まれてから決まっていることだから、あきらめなさい、と冷たく言われているように感じてしまいます。しかし、古今、仏教の智慧の眼では、有無を言うのは執着からおこるもの。自然の世界では、プラスを作れば同じだけマイナスが働き、マイナスを作ればプラスが働くもの。つまり、プラスマイナスゼロなのです。よく考えてみると、感染症で苦しむ人は、世間から疎まれ病いに苦しむ、マイナスの時間ばかりに包まれるかと思いきや、その苦しみを知らず、その人の苦しみに寄り添います。阿弥陀様をはじめ、多くの家族を亡くした蓮如上人もその一人でした。怨みは、こうした優しさに出会うことで和らぐのでしょうか。

念仏を欲ぶ人  
妙好人の世界  
[第91回]  
《ありのままに》  
讃岐の庄松  
(15)

《門主本寂と庄松同行》

妙好人・庄松と本山・興正寺門主・本寂との逸話は、有名な帰敬式の際のエピソードだけではありません。もう一つの逸話。庄松は、京都の興正寺にお参りすると、帰敬式で義兄弟の契りを結んでから、必ず、門主の本寂上人を訪ねることにしていました。本山に上がるときにも、特別な召しものを着るわけではなく、いつも粗末な出で立ちで上山したといいます。

あるとき、庄松は、いつものように、粗末な姿をして本山に上がり、門主と面談するために、御殿に案内されました。ところが、出迎えに出た側仕えの僧侶が、あまりに汚い小袋を下げていている庄松を見て、

「袋は廊下に置いてゆかれよ」と言うと、庄松は、間髪入れず

大きな声で、「袋を置いてゆけと言われたら置いてゆくが、この糞袋はどうしよう。あまりにおそれおおい」と言ってお腹を指さしました。あまりのことに、僧侶は、言葉に窮してしまいました。

ところが、庄松の大きな声を聞いて、庄松がはるばるやって来たことを知った本寂は、「そのまま来い。そのままじゃぞ」と言い、うれしそうに庄松を御殿に招き入れました。庄松は、「ありがとうございます。南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏」とお念仏を称えながら、御殿に上がり、本寂と念仏談議に花を咲かせたといわれています。

同行とは、このようなあり方を言ったものでしょう。



本山・興正寺山門

子と共に  
新型コロナ  
と震災

拡大が心配される、新型コロナウイルス。

これまでも、子供たちが小さかった頃など、やれインフルだ、ノロウイルスだと、毎年のようにヤキモキしながら冬を越したことを覚えていますが、今回の新型コロナウイルスはやはり違います。連日の感染拡大とそれに伴う深刻な影響。学校関係では、多くの学校で、卒業式や入学式が中止になりそうです。

思い出してみると、東日本大震災もちょうど卒業式のシーズンでした。震災当日、子供たちの学校も卒業式の練習をしていた記憶があります。

震災は、未曾有の被害を出し、災害に遭われた方々の復興にはまだ遠い道程です。今回のコロナウイルスでは、事態の一刻も早い収束を願うばかりです。

佳帆子  
高校二年生、最後の学年末試験だけれど…

# 春季講座開催

## 四年に一度当山担当

さる二月十七日、当山順慶寺にて、富士松真宗教団主催による春季講座が開催され、該当八ヶ寺の住職と関係者が集いました。

富士松真宗教団は、旧富士松地区の真宗寺院（泉田三ヶ寺、東境、今川、今岡、築地、一ツ木）八ヶ寺にて構成される団体。今岡・乗願寺は、真宗木辺派の寺院で、その他はすべて真宗大谷派の寺院です。

富士松真宗教団では、年に二回（春と夏）、著名な講師をお招きし、講座を開いていますが、このところ、春季講座では、大谷中・高の校長をされていた、愛媛県今治市・善照寺住職、真城義麿氏をお招きしていま



講義をする真城先生（順慶寺本堂、岡川経康氏撮影）

す。真城先生は、大谷大学で仏教学を学び、分かりやすい言葉で、仏教の基本を教えてくださいました。

当日、朝早くから、泉田地区の役員の方々が順慶寺に集合し、イスの準備、食事の準備などをしました。

お齋は、寺院間の取り決めて弁当を注文することになっており、今年はおにぎり弁当と順慶寺でこしらえたお汁でした。おにぎり弁当は、年配の参詣者でも食べやすいものとの配慮から選ばれたもので、好評でした。

## 山門扉の搬出完了

さる二月二十六日、山門扉の修理のため、亀山建設（岐阜県関市）によって、扉が搬出されました。当日、5人がかりで、トラックと大型クレーンで持ち上げる大がかりな作業でした。



## 夏に備えてハスの手入れ実施

さる二月十日、総代OB（写真左から酒井陽次、相木義典、岡本孝行、岡川信行以上敬称略）によって、境内ハスの手入れが行われました。当日、暖冬の今年では寒い日でしたが、念入りに手入れされました。



### 2月度護寺会物故者

#### 慈律院釋尼妙信

1月26日寂小島 信(87)  
名古屋市岡本吉之様の母

#### 釋尼芳映

2月5日寂鈴木房江(88)  
西境町石川信雄様の叔母

#### 釋尼静和

2月15日寂岡本和子(84)  
名古屋市岡本尚久様の母

#### 釋尼繁華

2月15日寂岡本しげ子(94)  
刈谷市岡本福太郎様の母

#### 釋忠誓

2月18日寂池田忠志(72)  
みよし市池田克孝様の叔父



## 編集部短信

◆寺カフェにゴーサインー二月十八日、責役総代会にて、有志により提案された順慶寺南落間で寺カフェをの提案を了承した。早ければ五月にも有志によって開始の予定。

◆教如上人掛軸修理要求ー責役総代会にて、文化財保護の観点から修復するよう指摘されていた、教如上人寿像（一六二〇年、本山より下附）を修復する要求が事務局から提案。要求事項を了承。

◆各地お取越終わるー一月末日で令和元年度の各地お取越が終了。二月以降も個別のお取越は続く。

◆老院休養ー昨年十二月末より体調悪化により当山老院が休養。復帰時期は今のところ未定。

## 編集雑記

やはり、今月一番の気がかりなことは、新型コロナウイルスのこと。あちらこちらで感染者が出たとか検査が大変だとか報道されるなどどうしても捨て置けません。

本堂やお墓にお参りされることは、差し障りなくできる環境を維持したいと思いますが、多くの方が集まる集会や法会などを開催することは難しい判断が必要だと感じています。

お寺でも、アルコール消毒の問題やマスクの問題が話題になりましたが、最後には、「あー、一昨年に御遠忌を勤めておけたので良かったね」となります。今になって、御遠忌法要が勤められたのはお陰様だったと気づかされます。



# 3月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		木-1
6	金		
7	土		
8	日	護寺役員年番会(15:30、順慶寺)	
9	月		
10	火		
11	水		
12	木	山ノ端報恩講(13:30、鈴木醇様)	木-2
13	金		
14	土		
15	日	十五日講(19:30、池田清忠様)	
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		木-3
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		木-4
27	金		
28	土	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺)	
29	日		
30	月		
31	火	護寺会会計監査(10:00、順慶寺)	

## 3月行事内容 詳細

### 護寺役員年番会

3月8日(日)

午後3時半、順慶寺本堂

対象：護寺役員、責役総代、

令和二年度年番

四月から、護寺会令和二年度がスタートするにあたり、令和二年度の行事などを審議し、内容を説明する会合を開催します。

とくに、一年間、地域でお世話をしていただくことになる年番の皆様には、年間通じての日程説明をします。当会合にて審議された行事計画をもとに、教化予算委員会にて護寺会予算が組まれ、四月の蓮師会当日に行われる護寺会総会にて、行事内容と予算の決定がなされます。

### 山ノ端報恩講

3月12日(木)

午後1時半、鈴木醇様宅

今川町山ノ端地区で構成される、十二日講の寄り合いを兼ねた、報恩講が開催されます。報恩講では、十二日講の御書の拝読、西念寺、順慶寺住職による法話があります。本年は、年配者への配慮から、夜の日程ではなく、昼間の日程となりましたので、お間違えのないようお願いします。

## お知らせ

### ●新型コロナウイルスへの対応について

今年に入ってから感染が問題視されている、新型コロナウイルスに対して、順慶寺としても以下の対応をする予定です。  
①対策の基本方針を責役と護寺会四役で話し合いをし、護寺役員年番会にて発表する。  
②月例会などについても、基本方針が決定したら、各例会役員より連絡する。

③その他の対応については、対応が決まり次第、順慶寺ホームページの掲示板や門扉の掲示板にて逐次連絡する。  
※個人的な本堂への参詣、本堂などで行う法事等については、従来通り実施をし、制限を設ける予定はありません。  
※本堂のお参りでは、入堂前のアルコール消毒の徹底、マスク着用をお願い、参詣者のイスの設置間隔を広げるなどの対応をする予定です。

## じゅんこのときめき歳時記 ぼたもち

みなさん、いよいよ三月で、春本番となりますね。今年は、新型コロナウイルスの関係で、学校行事が中止になったりするので、寂しい気持ちですが、こんなときこそ、美味しいぼた餅で免疫力アップといきたいですね。

ところで、ぼた餅とおはぎの違いは知っていますか。春にこしあんを使って丸く作るのがぼた餅で、秋に細長く俵型に作るのがおはぎらしいです。形は、春は牡丹の花に因んで丸型、秋は萩の花と小豆の形が似ているので小豆を残して

俵型にするそうです。

昔は、五穀豊穡を祈ることと体力を付けるために食べられたそうですが、今では、糖質制限を言われるので、食べ過ぎは禁物です。

### 合格電話

ぼた餅の手に 汚れたら

松倉ゆづる

